

事務事業名	鏡中条のゴヨウマツ松くい虫防除支援事業 ☐ 実施計画事業		所属部局	教育委員会		単位番号	12420						
			所属課室	文化財課		課長名	原 一						
			所属担当	文化財		担当者名	市川千草						
基本政策	基本計画体系 V 個性と文化を育む都市づくり 25 文化づくりの推進 39 歴史・伝統文化の振興	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目				
01		一般	1	0	0	4	0	5	0	2	0	0	6
事業区分		☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金											
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 15 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		法令根拠	南アルプス市文化財保護条例									
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 近年増加するマツくい虫に起因する天然記念物の腐朽に対応するため、県指定天然記念物の、マツ類の管理者の行う薬剤散布等防除作業について補助する。		事業費の主な内訳 (22年度)										
			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)							
			その他の補助金	18									
			計						18				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動

22年度活動実績

23年度活動予定

② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

市内の県天然記念物のうちのマツ類

③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)

地域の象徴として古来から守り伝えられてきた天然記念物を次代へ引き継ぐことができる

④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)

地域の歴史や自然を守る心の醸成

⇒

⇒

⇒

⇒

⇒

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない

名称

単位

⇒

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない

名称

単位

⇒

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない

名称

単位

⇒

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない

名称

単位

⇒

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	18	18	18	18	18	18	
	事業費計 (A)			千円	18	18	18	18	18	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	23	24	90	90	90	90	90	
		人件費計 (B)	千円	103	107	357	357	357	357	0	
		(A)+(B)			千円	121	125	375	375	375	0
活動指標		アイウ	回	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0		
		アイウ									
対象指標		アイウ	本	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
		アイウ									
成果指標		アイウ	年	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0	11.0		
		アイウ									
上位成果指標		アイ	%	38.0	34.0	38.0	38.0	39.0	40.0		
		アイ									

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？

松くい虫の媒介する線虫の被害を被った場合、樹勢の回復はほとんど不可能であるので、県補助制度を活用し、合併前から実施されている

② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？

松くい虫の被害については、近年その深刻さを増している

③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？

地域の象徴とされている古来から守り伝えられてきた指定文化財を次代へ引き継ぐためにも、支援が必要と要望されている

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？

☐ 取り組みしている ⇒【内容！】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由！】

② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)

被害を最小限に抑えるため、定期的に文化財審議委員、調査員が巡回している

③ H 22年度に実施した改革改善の内容

定期的に文化財審議委員、調査員が巡回している

事務事業名	鏡中条のゴヨウマツ松くい虫防除支援事業	所属部	教育委員会	所属課	文化財課
-------	---------------------	-----	-------	-----	------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 地域の象徴として古来から守り伝えられてきた文化財は地域の大切な資源といえ、地域文化振興の素材となろう
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 マツは個人の所有ではあるが、行政として指定した以上、支援しなければならない
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 市内に所存する県市指定文化財のなかで、松類は鏡中条のゴヨウマツだけであるので妥当
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 現在の判断は、樹木医の診断に基づくため
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 文化財巡視等 ☒ 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 松くい虫の媒体する緑虫の被害を被った場合、樹勢の回復はほとんど不可能 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 指定文化財なので害虫から木を守っていかなければならない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 現在の判断は、樹木医の診断に基づくため
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 所有者からの申請、実績報告の確認提出、県への進達など、書類上の最低限の事務が主であり削減の余地はない
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 市内に所存する県市指定文化財のなかで、松類は鏡中条のゴヨウマツだけであるので妥当

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	マツ食い虫の被害については、県内でも非常に深刻化しており喫緊の課題であるので、事業の計画性が強く求められる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について																								
①継続的な維持管理及び保存を進める																								
②																								
③																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		(5) 事務事業優先度評価結果																						
①文化財巡視員と連携しこれ以上悪化させないように定期的に巡視する																								
②		成果優先度評価結果																						
③		④																						
		コスト削減優先度評価結果																						
		⑨																						